

## 2020年度第4回理事会 議事録

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

日時：2020年9月14日(月)13:00～16:50

会場：日本代協会議室

出席者：全理事数 18名、出席理事数 18名、出席監事数 2名(杉本監事、津田監事)

会長 金子智明氏は、議長席につき、出席理事数の確認を行い、本理事会は定款第33条に基づき、有効に成立した旨を報告して開会を宣し、直ちに議事に入った。

### 会長挨拶骨子

・コロナ禍の収束がまだ見込めず、新たな経済・社会のあり方を模索し始めている中、本業のお客様対応や代協活動に腐心しながら、ご対応いただき、感謝申し上げます。

#### <業務報告>

- ・7/21(火) 損保7社・損保協会とのWEB懇談会を開催した。日本代協の各取組に関する現状報告及び協力要請並びに日本代協に対する要望確認および意見交換を行った。
- ・8/3(月)東洋経済社のインタビューを受けた。9月下旬発売予定の臨時増刊号に掲載される予定。
- ・8/6(木)金融庁の池田賢志保険課長を野元専務理事と同行訪問し、挨拶ならびに事業報告および意見交換を実施した。
- ・9/4(金)2020年度第1回活力研を開催した。論議は、テーマ1：ウイズコロナ時代の代理店の課題と業界対応として テレワーク、オンラインによる契約締結、コロナ禍による営業上の影響への対応、テーマ2：関東財務局代理店との対話結果を受けた今後の対応、テーマ3：自由討議として . 特定修理業者対策、 . 販売基盤・構造改革・代理店戦略について行った。詳細に関しては、間もなく配信される議事録を確認いただきたい。
- ・安倍首相の辞任挨拶に「政治において、もっとも重要なことは結果を出すこと」、「自分自身の健康管理が十分にできていなかったという反省がある」という表現に共感を覚えた。日本代協ならびに各代協の事業計画遂行に関する取り組みにおいても、知恵を絞り、WEB等も活用し、完遂を目指してほしい。
- ・明日9/15は全国会長懇談会、明後日9/16は会長オリエンテーションと続くが、コロナ禍の中で展開している事業計画の遂行の取組みに関する現状確認と今後の対策を共有したい。  
本日理事会も、闊達な論議をお願いする。

### 〔審議事項〕

#### 1. 2020年度表彰者の選考(2019年度までの功労について)

選考会議議長を務めた山口副会長より、資料に基づいて、表彰者の選考結果が報告され、審議・採決の結果、全会一致で承認された。

#### 【決定したこと】

- ・2020年度表彰者(推薦書の提出順)は以下のとおり、  
高尾 英明 氏(新潟)、渡辺 眞一 氏(岡山)、長谷川 勝広 氏(奈良)、廣瀬 章 氏(神奈川)、  
藤原 広洋 氏(青森)、澤村 良二 氏(熊本)、松山 敦洋 氏(兵庫)、山中 昭平 氏(大阪)、  
須藤 貴行 氏(愛媛)、井澤 正生 氏(富山)、稲垣 昭 氏(三重)
- ・次年度開催予定のコンベンション会場にて、次年度選考表彰者と一緒に壇上表彰する
- ・次年度は、表彰基準の今日的見直しを行った上で、基準に基づき、選考を行う。

### 【主な説明・意見】

- ・各候補者とも表彰基準を充たし、代協活動において申し分のない功績を残されている。阪神ブロックより2名の推薦があがっているが、選考委員会にて、そもそもの表彰基準の今日的見直しを行うことを前提に11名全員を表彰者として推薦する。
- ・日本代協の定款では、一号：社員（正会員）、二号：社員（特別会員）、三号：賛助会員となっており、表彰施行規則においても、一号と三号の二者が表彰対象となっているが、次年度以降、一般会員も対象に含められるよう規則改定を検討してほしい。
- ・現行の推薦基準には、「(2)各ブロックで複数の推薦は行わない」としている。これにより地域の偏りを抑えることはできるが、組織の活性化という点で一律の人数制限はどうかという疑問もあるので改めて表彰はどうあるべきか検討する必要がある。

〔資料 審1.〕 2020年度表彰候補者一覧（P.1） 表彰者選考結果（別冊 席上配付資料）

## 2. 事業計画推進に関する審議事項

「損害保険大学課程コンサルティングコースの次年度開講予定コースの受講者募集目標」について、石川委員長から提案があり、審議・採決の結果、全会一致で承認された。

### 【決定したこと】

- ・次年度の受講者募集を実施することが決定した場合には、各ブロックの募集人数目標を添付のとおりとする。（合計目標人数は、前年同様の840人）
- ・代協別の人数目標については、各ブロック内で協議のうえ、確定いただく。

### 【主な説明】

- ・コロナ禍の影響で2020年度のリアルセミナー開催が中断している状況ではあるが、損保会社や認定主体である損保協会からの継続開催の要請に基づき、開催方法を模索している。リアル開催が前提であるが、代替策実施の可能性にも言及した募集要項を策定し、受講者募集を進める予定である。
- ・コロナ禍の受講勧奨では、リアル面談を極力避けることが望ましいため、紙媒体ツールの作成・配布なども検討する。
- ・検討している開催方法

#### (1)リアル開催の模索

有形無形の越境・移動制限が現時点の障害となっている。ソーシャルディスタンス[距離を確保したコの字型での定員確認要]を確保した会場（内規のある会場もあり、自治体のガイドラインでも平時定員の50%を有事定員としている地域がある：損保会館は35名運営/225名定員 60名運営/225定員に修正あり）を準備し、その他の感染対策（受付時の体温計測、ディスカッション時のフェイスシールド等の着用など）を講じた上での開催を検討中

#### (2)WEBを活用したバーチャルセミナー開催の模索

Zoom ブレークアウトセッションを活用してのバーチャルセミナー（含むディスカッション）開催の仕組み構築を目指して、試行・調査を実施中である。講師との連携や画面切り替えなどのオペレーター養成と拠点確保、それにかかるコスト、各回の定員のあり方、セミナー時間のあり方などの課題解決に取り組んでいる

#### (3)その他の代替策の検討

「各科目の動画＋特別確認テスト」の合格者に教育プログラムの修了番号を交付する。

(5年後のTP認定更新時までの間に、リアルセミナーを受講することを次回更新の条件とする)などの代替策を検討中である

リアル開催を目指して調整するが、コロナ禍の情勢により、リアル開催不可と判断した場合は、WEBセミナーに切り替える。仕組み構築ができていない場合やシステム環境が整備できていない受講者が存在する場合は、その他の代替策(動画視聴と確認テストの履修[条件:次回TP認定更新時までの間にセミナーを受講する])で修了できるという運営を行う予定である。

- ・認定保険代理士の輩出の時から、セミナーには会場定員を設定しており、申込みも先着順となっているが、コンサルティングコースの募集に当たっては、希望者をできるだけ多く受け入れるために開催回数を増設して対応してきた。コロナ禍の現下情勢では、増設対応はできない。

#### 【主な意見】

- ・コロナ禍の現下情勢において、特に地方では、リアル開催では受講者募集が難しい。有形無形の越境・移動制限が支障となる。
- ・コロナ禍で多くの不確定要素があり、教育委員会が腐心していることは承知したが、受講生にとって不誠実な提案(募集要項)とならないよう期日を切って、その時点で確実に実施できる代替策で開催することが望ましい。
- ・開催方法を早く決めることが重要である。

〔資料 審2.〕 「損害保険大学課程コンサルティングコース受講者募集目標数」(追加資料P.3)

#### [報告事項]

##### 1. 事業計画推進にかかる報告事項

###### (1) 地域担当理事からの報告

事前提出され、書庫に登載されている事業計画アクションシートへの記載事項以外に以下のコメントがあり、共有された。

- ・コロナ禍においては、平時以上に事務局の体制整備・強化が重要であることを実感している。
- ・各ブロック協議会が工夫して、感染防止対策を講じたリアル開催やWEB開催で協議会を行っている。参加した協議会では、悩みや好取組、工夫事例を確認できたので、情報を共有していく。WEBを活用してどう活性化につなげるかが喫緊の課題である。人間関係構築にも全力で取り組んでいる。
- ・人材育成セミナーの企画に知恵を絞っているが、正副会長や委員会担当理事にWEB会議で出演いただきたいとの要望が上がっている。(対象者全員の賛同を得た)
- ・事業計画アクションシートは、計画や対策の進捗度合いを青・黄・赤で色分けし、「見える化」している。
- ・WEBを活用し、セミナーや支部例会・セミナーを数多く開催するなど、知恵を絞り、事業計画遂行に当たっている。三冠王の連覇などを目指し、できない理由探しではなく、どうやったらできるかを皆で協議してPDCAを回している。
- ・70周年など周年行事は各代協で延期とした。WEB会議の活用に関するバラツキを解消することが重要と考える。
- ・協議会は両ブロックともにWEB開催した。8代協中5代協の会長が交代しており、LINEや電話でコミュニケーションを図り、現状と課題を共有することから始めた。また、日本代

協のホームページや書庫の開き方も改めて案内し直し、活用を促した。

- ・各委員会や各支部例会も『「おもしろい」、「役に立つ」、「また来たくなる」』という組織委員会のミッションが広がり、活性化につながる予兆が見えた。
- ・『集い、語り、高め合う』を合言葉に代協の魅力の伝播に尽力する。

〔地域別委員会別資料〕各ブロック別事業計画アクションシート（地域別委員会別資料 P.1-28）

## （２）委員会担当理事からの報告

### 企画環境委員会

松本委員長から、資料に基づき、諮問・推進事項の推進結果、現状の課題と今後の対応策について報告があり、共有された。

#### 【主な内容】

- ・共通化・標準化の検討について：提言については、改めて整理したうえで損保協会に提出する準備を行う。提言の質の向上のためには、独禁法の理解を深める必要があると判断したため、弁護士の見解動画\*を作成し、提供することとした。

\*錦野弁護士他による独禁法の基礎知識を確認すべく「公平・公正な競争環境の創造のために」という動画

重点課題としては、オンライン募集・テレワークの２つに絞り、非競争領域であると位置づけて、意見交換していく予定である。チャンネル間競争力の強化にもつながることであり、積極的な条件・意見出しを実施する。手引書作成も目指す。

- ・募集実態のモニタリングと具体的対応策の実施：継続的モニタリングを実施する。募集モニタリングの目的と対応に関するベクトル合わせから、始動する。弁護士の解説動画は委員の研修や日本代協アカデミーで活用する。

・チャンネル間競争力強化策・消費者並びに契約者に代理店の価値を伝える施策の検討・提示：既提携事業の活用実態調査を行ったが、自動車関連への偏りが見られた。非金融サービスとリスクコントロールの必要性の認識を高めていきたい。既存提携先の周知徹底を動画コンテンツ等で行うとともに、新規提携先の選定に取り組む。また、代理店のあるべき姿へのロードマップの作成にも着手する。３つの基準を用いて６類型化し、各層の理想像とロードマップを描いていく。（地域型・広域型、比較推奨の有無、小規模・大規模）

- ・自主取組事項：顧客本位の実現のために、日本代協アカデミーの活用・連携、代理店経営サポートデスクの活用・連携にも取り組む。

コミュニケーションの活性化には、現場との直接のコミュニケーション手段も必要と考えたため、各代協の企画環境委員のリスト作成にも着手している。

〔地域別委員会別資料〕企画環境委員会報告シート（P.29）

### 教育委員会

石川委員長から、資料に基づき、諮問・推進事項の推進結果、現状の課題と今後の対応策について報告があり、共有された。

#### 【主な内容】

- ・日本代協アカデミーの展開：

イ.コンテンツの作成については、日本代協アドバイザーの土川尚己氏に支援いただき、Zoom ブレークアウトセッションの勉強会を実施した。ITリテラシーや公的年金アド

バイスをコンテンツに盛り込んでいきたい。好取組事例の確認のためのメールアンケートも今回で5回目となったが、「コロナ禍の感染症対策」というテーマで実施したところ139件の回答が集まったので、情報提供コンテンツを提供していきたい。

□.10月更新手続きに関しては、利用会員に対しては更新案内、未利用会員へは新規登録のお勧めを配信している。9月30日までに郵便振替で支払手続きを完了いただきたい。なお、更新手続き完了会員並びに新規登録会員には、「保険代理店のための人事労務ハンドブック」(定価2,000円、会員価格1,000円)を無償提供いただくこととなっている。

.損保トータルプランナーの魅力度向上：

WEBを活用し、保険会社のウェビナーの場でも情宣の枠をもらえるよう要請していく。昨年度末に完成した「TPゴールドバッジ」が合計で700個弱しか購入されていない。改めて情宣を行う。

〔地区域委員会別資料〕教育委員会報告シート(P.30)

#### 組織委員会

中島委員長から、資料に基づき、諮問・推進事項の推進結果、現状の課題と今後の対応策について報告があり、共有された。

#### 【主な内容】

<2020年度委員会運営方針>

- ・2020年度の組織委員会は、WEBを活用し、年6回開催とする。
- ・合言葉は「おもしろい、役に立つ、また来たくなる」をミッションとして運営する。
- ・各地の好取組事例を収集し、組織委員会で共有する。またブロックで情報共有する。
- ・日本代協が推奨する「BCP策定セミナー」を受け、「中小企業事業継続力強化計画認定取得」に全委員が取り組む。

.代協・支部の強化

支部例会やオリエンテーションの開催状況を把握したところ、地域による温度差が確認できたため、均質な情報提供を行うための動画作成にチャレンジする。九州北ブロックで4県合同でセミナーを実施していく。大阪、福井、北海道での実施事例も参考になる。Zoom等WEBを積極的に活用し、各地からも参加できるセミナーを企画する。

.「仲間づくり」の推進

「代協の魅力伝える動画」、「代協の魅力とは」、「日本代協アカデミー」、「日本代協新プラン(代理店賠償)」、「代理店経営サポートデスク」、「各代協でのベンチマーク研修」、「業界動向ニュース」などをコロナ禍でもWEB等を活用して提供できるよう好取組事例共有を強化する。京都、福井、佐賀は入会目標達成している。

.代理店賠償の推進

WEBを活用し、会員非会員向けセミナー、保険会社社員向けセミナーを積極開催する。chubb社のセミナー講師が変更となっている。セミナー企画の際の相談は、P&C本部ファイナンシャルライン部 鈴木 実 部長が窓口となる。

電話番号：050-3164-8211

.「会員資格と会費モデル」の考え方の検証と推進

「都道府県別募集人数別会員分布一覧」ならびに「各代協の会費体系」を参考にして、検証を行う。ブロック内各代協のシミュレーションなども行い、各代協組織委員等と情報共有する。

・自主取組事項

イ.テレワーク：東京代協で行うテレワーク推進を組織委員会で共有する。

ロ. B C P 策定と中小企業事業継続力強化計画認定取得：全組織委員が B C P 策定と認定事業所登録まで行う。代理店サポートデスクの粕谷室長に支援いただき、毎回の委員会で進捗状況を確認する。

〔地域別委員会別資料〕組織委員会報告シート（P.33-34）

CSR 委員会

廣瀬委員長から、資料に基づき、諮問・推進事項の推進結果、現状の課題と今後の対応策について報告があり、共有された。

【主な内容】

・防災・減災の具体的な取組の検討・推進

改めてハザードマップに焦点が当たっている。損保協会作成の各種防災ツールをお客さまとのリスクのすり合わせのために積極的に活用する。

・ぼうさい探検隊の積極推進

8 月末現在、54 団体とコロナ禍の影響があり、低迷している。少人数や家族単位で密にならずに手軽に防災を学べる「ぼうさい探検隊」アプリを搭載したタブレットの無料貸し出しを受けて、マップ作成している代協もある。ぜひ参考に取組みを進めてほしい。提出期限は 11/4 である。

・ B C P の推進

WEB を活用した「 B C P セミナー」を展開する。すでに 5 代協の開催が決定している。各代協の WEB 環境の確認を行い、代協もしくはブロック単位での開催を検討する。設営としては、ワークショップを含むリアルセミナー形式がベストと考えるが、WEB 方式でも対応が必要と考え、全国共通のちらしを作成したので、加工して活用いただきたい。

・「サイバーセキュリティ対策の推進」

長崎、熊本、東京でセミナー設営を調整中である。

東京オリンピックが 2021 年に延期となったため、改めて日本へのサイバー攻撃は増大することが予想できる。警視庁からも改めて取組みを強化するように連絡が入った。機会をとらえて WEB セミナーの実施を働きかけていきたい。

〔地域別委員会別資料〕 CSR 委員会報告シート（P.35-37）

広報委員会

野原委員長から、資料に基づき、諮問・推進事項の推進結果、現状の課題と今後の対応策について報告があり、共有された。

【主な内容】

・日本代協並びに損保トータルプランナーのブランド力向上に向けた P R 施策の検討・実施

各代協に、今回PR動画の台本の素材となる取組事例のアンケート調査をお願いしている。締切は9/18(金)。台本作成後に、Zoomで撮影方法をお知らせする。動画撮影も3回目ということもあり、進捗はスムーズである。また10/16に会長・副会長に出演いただき、動画撮影を行う予定である。

・日本代協・各代協のホームページの活用と対外広報活動の企画・推進

日本代協ホームページの書庫などID・PWが必要となるが、周知が徹底できておらず、まだ活用が進んできたとは言えない状況である。活用法の情宣に努める。

また、リニューアルを検討している代協も多いため、各代協ホームページの運営ガイドライン作成に着手する。知見の高い方を数名招いて、PTを立ち上げ、取り組む。

・「みなさまの保険情報」の利用拡大に向けた活用推進

キャンペーン等は実施しておらず、購入部数は増やせていないが、PDF版の購入者の活用事例(ホームページでの活用・WEB上での活用など)を収集・情宣し、価値を伝えていきたい。

・「代協の魅力伝える動画」の活用推進

8月末で、動画視聴回数は1,001回となっているが、ホームページのトピックスに掲載しているので、事あるごとに放映、紹介いただきたい。

・昨年度のYoutube動画の作成枠の活用

コロナ禍で撮影が止まっていたため、枠が3本分残っている。「Zoomの活用(各代協・支部での活用を想定したオペレーションスキル向上につながるもの)」を作成していきたい。昨年までのPR企画の編集者であったインプリメント社が知見に長けており、協力をいただくことになっている。

〔地域別委員会別資料〕広報委員会報告シート(P.38)

## 2. 前回理事会(2020.7.10開催)以降の主な業務報告

### (1) 正会員増強運動 8月末状況のご報告

#### 【主な内容】

- ・2020年度は、8月累計で入会101店、退会320店、合計219店(前年度は入会149店、退会349店で合計200店)累計で11,549店となった。
- ・代申会社別では、S J 87店、T N 67店、M S 32店、A D 13店、A I G 6店、日新6店など、1店増店の楽天社を除き、全社が減少となった。
- ・代協別では福井、京都、佐賀が入会基準目標を突破し、1冠を達成した。一方で入会が「0」と苦戦している代協が14代協ある。
- ・専業換算組織率では、全体では49.3%、京都83.7%、香川80.4%、高知74.5%、鳥取73.7%、徳島73.0%、岡山72.4%、滋賀71.1%、奈良70.9%、長崎70.6%と70%を超えている。
- ・2020年度「入会」目標ガイドラインは、7/31に第20-66号のレターで配信済

〔資料 報1.〕「仲間づくり推進」の実施8月末(各代協別・代申社別)(追加資料P.7-8)

### (2) 代理店賠償「日本代協新プラン」更新状況

#### 【主な内容】

- ・8/7(金)に各会員向けに、「新規・継続加入の募集」に関するパンフレット、重要事項説明

書、保険料払込票等を発送、9/4(金)を締切日として手続きを開始した。

- ・9/14(月)集計で、9,483件(189,668千円)と昨年同日比較では件数は155件という状況で、約700店が未更新である。
- ・9/10(水)に未手続き会員に対して一斉FAXを送信し、督促している。
- ・不備件数は昨年の230件に対して、9/14時点で254件と横ばいである。
- ・8/31に代理店賠償審査会を開催し、弁護士、大学教授などの有識者メンバーにWEB参加いただき、コロナ禍での興行中止保険に関する個別事案の論議を行った。

### (3) 日本代協アカデミーの展開状況

#### 【主な内容】

- ・9/3時点のID登録状況は、856店5,411IDである。現時点で茨城・滋賀・奈良・大阪の4代協が「目指せ、三冠王！」の重点取組課題である目標を達成している。
- ・現在、10月更新手続きの案内を利用代理店に配送し、9/30までに利用料を支払い、更新手続きを完了させるようお願いしている。更新代理店には、「保険代理店経営者のための人事労務ハンドブック」(一般市価2,000円、代協会員価格1,000円、アカデミー登録店無料進呈)を提供する。合わせて未利用者に対して、新規登録のご案内も実施している。
- ・冊子の販売は、更新の集約が進んだ段階で改めて案内することになる。
- ・特別会員が利用できる(情報コンテンツのみの利用)「日本代協アカデミー保険会社版」も整備ができたので、各社に案内を配信する。

- 〔資料 報2.〕
- 1.日本代協アカデミー利用者登録数(追加資料P.4)
  - 2.日本代協アカデミー10月更新に向けた対応(P.5-6)
  - 3.特別会員向けサービス概要(P.7-10)

### (4) 損害保険大学課程

#### 【主な内容】

##### 損害保険トータルプランナー認定状況等

2020年8月末時点	損害保険トータルプランナー	16,980名(+230名)
	認定有効者数	14,944名(+208名)
	損害保険プランナー	69,798名(+65名)
	有効認定者数	38,717名(165名)
	ゴールドカード保有者	6,954名(+93名)

〔資料 報3.〕 損保大学課程各コースの認定状況等(追加資料その2 P.13-14)

##### 2020年度コンサルティングコース受講者募集

- ・2020年4月開講コースのセミナー等開催要領を決定後に、次年度募集のあり方を検討することになっている。9/14日時点では未決定。
- ・募集開始する場合の基本スタンスは今までと変わることはなく、主体的に募集し、代協会員で目標840名の達成に取り組む。
- ・「お客さまから選ばれるメルクマール」としての認定であり、代理店内の認定保有者数や割合を高めることが重要となる。

##### 損害保険トータルプランナー認定授与式

- ・毎年12月第一金曜日に開催している「損害保険トータルプランナーの認定授与式」



は、コロナ禍の情勢を踏まえ中止となった。

#### (5) コンベンション関連

##### 【主な内容】

- ・本年の日本代協コンベンション中止に伴う対応として、代協会員懇談会の質問事項等提出のお願いを発信している。質疑応答を書面にて行う。

提出締切日:9月30日(火)日本代協事務局宛 送付としているが、現時点での提出はない。

- ・2020年度の会場のキャンセル料は、次年度利用を条件として約100万円まで減額できた。

〔資料 報4.〕会員懇談会の質問事項等提出のお願い(P.13)

#### (6) 活力研実施報告

##### 【主な内容】

- ・活力研:9月4日(金)15:00~18:00にWEB会議にて開催
- ・論議は、テーマ1:ウイズコロナ時代の代理店の課題と業界対応として テレワーク、オンラインによる契約締結、 コロナ禍による営業上の影響への対応、テーマ2:関東財務局代理店との対話結果を受けた今後の対応、テーマ3:自由討議として .特定修理業者対策、 .販売基盤・構造改革・代理店戦略について行った。
- ・詳細は、今後配信する議事録を参照いただきたい。

議事録のドラフトからアドバイザーのコメントを一部抜粋したので確認いただきたい。

「コロナ禍の現況を考えると、とんでもない緊急対応(大惨事)が要されており、世の中がどう動くのかを考えてみると、強い者が勝つという考えから、弱い者に対する配分を考える様になってきている。例えば、保険会社と従業員の立場を考えてみると、会社は従業員を守るために業績がコロナの影響で悪化したとしても、従業員への給与は守ろうとするし、日本の企業はほとんどがそうである。このような考えを代理店にも適用する必要はないのだろうか。このような大惨事においては保険会社として代理店に配分するという考え・施策の導入を視野にいれるべきではないか。自動車保険のリザルトがものすごく改善されており利益が増えるかもしれないという時に、その利益を代理店に分配という観点から還元するというのは絶対にありえないことではないと思う。手数料ポイントで言えば「コロナ特例プラスポイント」のような施策を打ち出したとしても、世間一般の考え方からみておかしくないのではないかと。それは逆に今度は保険会社が困っている時に代理店が泣いて「手数料特例のマイナスポイント」を受け入れるという考え方につながるが、保険会社と代理店の長い取引期間を考えると今回のコロナ禍がそうした新たな関係を生み出す一つのきっかけになるのではないだろうか。今一度保険会社には代理店への分配という考え方を検討していただきたい。」

〔資料 報5.〕1.2020-1 活力研論議テーマ (P.14-18)

2.サービスチャネル整理 (P.19-21)

#### (7) 代理店経営サポートデスク(相談対応状況)

##### 【主な内容】

- ・2019年度 39件、2020年度 15件の相談が寄せられ、個別に対応している。業界動向や相談対応事案を踏まえ、BCPのガイドブックなどを作成し、セミナーもWEBを活用するなどしてすでに4代協での開催が決定している。「不動産事業者向けBCPセミナー」や親族承継をイメージした「保険代理店の戦略的事業承継ガイドライン」も作成中である。また、日本代協ア

カデミーに連携し、次世代育成のための日本代協未来塾(仮)の創設も検討中である。未来の経営者が経営のセオリー(含むスキル・ノウハウ)を学ぶ場をイメージし、カリキュラムを構築中である。

- [資料 報6.] 1.代理店経営サポートデスク相談対応状況(P.22-23)  
2.ふうたのワンポイントレッスン 4.5. (P.24-26)  
3.0720 新日本記事 テレワーク労務 (P.27)  
4.日本創倫 「改定・代理店 Web 監査」サービス概要 (P.28)  
5.日本創倫 「個人情報 QA ちらし」(P.29-30)  
6.日企 人事・労務ハンドブックちらし (P.31-32)

#### (8) 第9回国際保険流通会議 in 東京 2020

##### 【主な内容】

- ・日本青年会議所保険部会が主催し、毎年開催している「国際保険流通会議」がウェビナーを活用したハイブリッド形式で開催されることとなった。金子会長と松本理事にパネラー参加の要請が届いた。
- ・11/14(土) 13時45分～16時40分 ベルサール飯田橋駅前(会場参加は40名まで)

[資料 番外.] 第9回国際保険流通会議 in 東京 2020(追加資料その2 P.15-17)

### 3. その他

#### (1) 2021年度日本代協事業計画に対する提言提出依頼

##### 【主な内容】

- ・2021年度の日本代協の事業計画策定に関し、提言する事項があれば、理念やスローガンではなく、具体的な取り組みがイメージできる内容で、また、個人的な意見ではなく、組織論議したうえでの提出をお願いする。報告様式は自由、回答期限は11/13(金)。

[資料 報7.] 2021年度事業計画に対する提言ご提出のお願い(P.33-34)

#### (2) 業界動向に関する情報提供

##### 【主な内容】

自然災害対応検討 PT(損保協会)に対する日本代協の取組報告と提言

- ・大きな消費者問題になりかねない様相を呈しており、業界を挙げた対応が不可欠である。PTの中間とりまとめに対して、当会の取組み(風水災、不正請求対策、提言)を提出する。

損保協会業務改革ワーキンググループの立ち上げ

- ・令和2事業年度の金融行政方針にもデジタル技術の活用や書面・押印・対面を前提とした業界慣行の見直しや決済インフラの高度化・効率化の推進が記載されている。昭和の香りが残る業務を令和仕様にするためにWGを立ち上げたとのことである。

共通化・標準化の推進

- ・自賠償のペーパーレス化・キャッシュレス化を損保協会と協調しながら進めているが、課題が山積みである。
- ・来年秋ごろには市場に出てくる「金融仲介サービス業」には、家計簿アプリの企業が参入の意向を示しているとのことである。

- [資料 報8.] 1.金融庁幹部名簿 (P.35-39)  
2.特定修理業者対応 消費者庁損保協会ちらし  
[https://www.sonpo.or.jp/news/notice/2020/2007\\_04.html](https://www.sonpo.or.jp/news/notice/2020/2007_04.html)  
3.損保協会防災ツール紹介 (P.40-41)

- 4.安全運転啓発ちらし(P.42-45)
- 5.令和3年度税制改正要望(P.46-58)
- 6.(参考)労働保険事務組合 特別加入(P.59-63)
- 7.JCM7月末実績(買取車両上位10台、累計実績)(P.64-66)
- 8.業界動向(日本代協ニュース情報版)(配信済)

[資料 番外] 貴協会における自然災害対応に関する弊会の取組みとご提言(追加資料その2 P.1-12)

### (3) 2019年度代理店統計

#### 【主な内容】

- ・代理店実在数 172,191 店(対前年 8,128 店、昨年度は 6,414 店)3者間契約に基づく勤務型代理店数は 10,407 と 199 店となった。  
募集従事者数 2,054,942 人(対前年 9,366 人、昨年度は 8,580 人)
- ・募集形態別保険料構成比 代理店扱 91.2%、直扱 8.1%、仲立人 0.7%
- ・専業：副業 = 18.4%(昨年 18.7%)：81.6%、法人：個人 = 57.4%：42.6%、専属：乗合 = 76.6%(昨年 77.2%)：23.4%
- ・チャネル別代理店数構成比 自関連 53.3%(52.3%)、専業 18.8%(18.9%)、不動産業 10.4%(11.4%)
- ・新設 7,985 店(昨年 8,935 店)、廃止 16,113 店(昨年 15,349 店)

[資料 報 9.] 損保協会集約 2019 年度末 代理店統計(追加資料 P.9-17)

### (4) その他(情報提供)

#### 2020 年 最低賃金目安の確認

中央最低賃金審議会(厚労相の諮問機関)は 2020 年度の地区別最低賃金の引上げを決めた。各代協事務局員や各会員従業員に対し、改定対応が必要となる。

[資料 報 10.] 毎日新聞記事 2020 年度 地区別最低賃金時間額目安(P.67)

#### 2020 年度版「代協活動の現状と課題」

2020 年度版冊子は、9 月 18 日(金)に全会員あてに発送する。

### 〔監事講評〕

杉本監事から以下の通り、監事講評があった。

- ・2 回目の WEB 理事会だったが、熱心な討議で適正に議事運営がなされたものと判断する。前回の理事会で指摘のあった音声の不具合も改善され、聞きやすくなった。対応に感謝する。資料や報告にも、WEB やオンラインの文言が多くなり、コロナ収束前という情勢ではあるが、一気にデジタルを活用した活動に変わってきたという印象を受けた。代協活動も制限されている状況であるが、デジタル化のメリットや創意工夫した情報を共有して活動を進めていただきたい。
- ・東京のコロナの新規感染者数は 6 日連続で 100 人超(本日 9/14 は 80 人とのこと)であるが、都は警戒レベルを最も深刻なレベルから 1 段階引き下げ、Go To キャンペーンでも 10 月から東京除外が解除されるとのことで、経済活動にはいいことであるが、10 月以降、緊張感は緩むことになり、さらに 11 月以降はインフルエンザの流行等も考えられ、コロナ感染者の再拡大を危惧している。
- ・各理事におかれては、地域的にも意識が異なることもあるが、ご苦勞が絶えることがない状態が続くと思う。コロナ禍の中くれぐれもご自愛いただきたい。

以上

< 諸会議開催予定 >

2020年9月～2021年2月のスケジュール (案)

損保会館の予約状況ならびに会議体のあり方の改定状況によっては、日程の変更がありますので、予めご了承ください。

2020年度	9月4日(金)	15:00～18:00	活力研(正副会長、企画環境委員長)	WEB会議開催
	9月14日(月)	10:00～11:00	正副会長打合せ	リアル開催(日本代協会議室) 正副会長はリアル参加、その他役員はWEB会議開催 ZOOM
		11:00～12:00	表彰者選考会議	
		13:00～17:00	第4回理事会 テーマ:通常課題	
	9月15日(火)	11:00～16:00	第1回会長懇談会(情報提供とコロナ禍での事業推進)	WEB会議開催 ZOOM
		16:30～18:00	セミナー:「顧客本位の業務運営のための徹底した体制整備」 (株)ビッグベル 代表取締役 良元 輝 氏(東京代協会員)	
	9月16日(水)	9:30～16:30	(新任)会長オリエンテーション	WEB会議開催 ZOOM
	10月15日(木)	9:30～10:45	正副会長打ち合わせ	WEB会議開催 ZOOM
		13:00～17:00	第5回理事会 テーマ:通常議題	
		18:00～	損保協会との懇談会(日本代協主催)	
	11月6日(金)	13:00～20:00	第10回日本代協コンベンション	次年度へ延期
	11月7日(土)	10:00～12:00	第10回日本代協コンベンション分科会	次年度へ延期
12月7日(月)	10:30～12:00	正副会長打合せ	日本代協 会議室	
	13:00～17:00	第6回理事会 テーマ:通常議題		
12月8日(火)	11:00～17:00	第1回ブロック長懇談会	損保会館 大会議室 会場 損保会館3F 食堂	
	17:00～18:00	セミナー		
	18:10～19:30	同上懇親会(有志・会費制)		
2月5日(金)	9:15～10:15	正副会長打合せ	日本代協 会議室	
	10:30～12:00	財務委員会		
	13:00～17:00	第7回理事会 テーマ:事業計画案、他通常議題		

以上をもって、議長は理事会の終了を宣し、午後4時50分閉会した。  
上記理事会議事録を作成し、議長並びに議事録署名人が記名押印する。

2020年9月14日

議長                      会長                      金子 智明                      印

議事録署名人              監事                      杉本 恭三                      印

議事録署名人              監事                      津田 文雄                      印